

編集後記

- 今年度の探訪会は笠岡の高島として、7月30日に下見調査に5名で訪問し、11月20日には若い女性も加わり10名で参加しました。この島で当会の会員である藪田・河田氏らとの交流を深め、お二人の島に対する想いと先史古代に関する造詣の深さに多くを学びました。今後の交流が楽しみです。
- 今回は中島康之氏と楠敏明氏の登場です。中島氏のテーマは邪馬台国九州説に則った論陣ですが、素人の我々には分かり易いですね。また楠氏は理系らしい物の見方がとても斬新です。彼は楯築遺跡のすぐ下の集落で生まれ育ち、今では遺跡の世話をなっている。前回登場の矢吹壽年氏は2月に就実大の仲間と朝鮮の遺跡調査・探訪を計画されていて、次回の寄稿が楽しみです。
- 常連の井上・樋口氏は益々文脈が佳境に入り、「楽しみながら挑戦しています」との事。普段筆を持たない我々にとって、考えを表現する難かしさにはありますが、苦勞した分喜びも大きいのかもかもしれません。読者の方で未投稿の方も勇気を出して一文をまとめてみてください。要望があれば仲間が校正のお手伝いをさせていただきます。
- 大守顧問の要請もあり郵便局の振込口座を開設しました。若狭会長と井上会計担当に奔走していただきました。結構難しい手続きでしたが無事クリアできたようです。会費納入等に活用下さい。
- 次号の原稿を温めておいてください。随時贈って頂きますと編集委員としては助かります。次号は新年度の総会（別途案内状を添付）のあとになります。
なおこの冊子をお届けしたい所が御座いましたら事務局までご紹介下さい。事務局でお届けします。紹介したい入会希望者も同様です。

“きび”考 第5号 2012(平成24)年2月29日発行

発行 日本先史古代研究会

会長 若狭哲六 岡山県備前市東片上 771

事務局 702-8002 岡山県岡山市中区桑野 504-1 山崎泰二

電話=086-276-6654 FAX=086-276-2241

メール=top@bosaisystem.co.jp

編集委員 井上秀男 延原勝志 樋口俊介 本松一郎 丸谷憲二 山崎泰二